

SSKS 風の子便り

ひとりぼっちの障害者をなくそう



内職
がんばって
ま〜す

目次

☆活動報告	2
☆メンバーのつぶやき	3・4・5・6
☆バリアフリーよもやま話（岡本連載） 第95回「チャレンジ」	7
☆祝！！和音&こども“ど真ん中” プロジェクト賞受賞	8
☆懐かしの写真アルバム	9
☆運営委員会報告	10
☆退職のあいさつ・寄付のお礼	11
☆所長のつぶやき	12



2020年 6月号



活動報告

- ① 風の子会は5月27日（水）から自粛解除になりました。
- ② 徐々に曜日によっては違いますけれどもメンバーがきはじめています。
- ③ 新型コロナウイルスの関係で、食事をする時、お互いの距離をとって食事を行っています。普段の日は職員さんはメンバーのとなりで食事介助をしながら一緒にお昼ご飯を食べていますが、今新型コロナウイルスの関係で食事介助が終わった後に職員さんがお昼ご飯を食べることになりました。
- ④ 朝の送迎時は必ずメンバー全員が体温を測ることになりました。
- ⑤ 6月20日（土）に風の子会で総会を行いました。
- ⑥ 工房の皆さんのところに内職がきました。



メンバー島田龍司

矢島さんはアルコール消毒液を箱に入れる仕事をしています。

掛橋さんはマスクを箱に入れる仕事をしています。



メンバー同士が正面にならないようにして2メートル離れてソーシャルディスタンスをしています。



メンバーのつぶやき

「お休み中、何をした？」

風の子会がお休みの間、漫画とテレビをたのしみました。兄が漫画を貸してくれた。

読んだ漫画は「風流つまみ道場」と「ワカコ酒」と「駅弁一人旅」だ。今も読んでいる。つまみ道場とは男の人が酒のつまみを作って友人に振る舞う物語だ。料理の解説書も載っている。

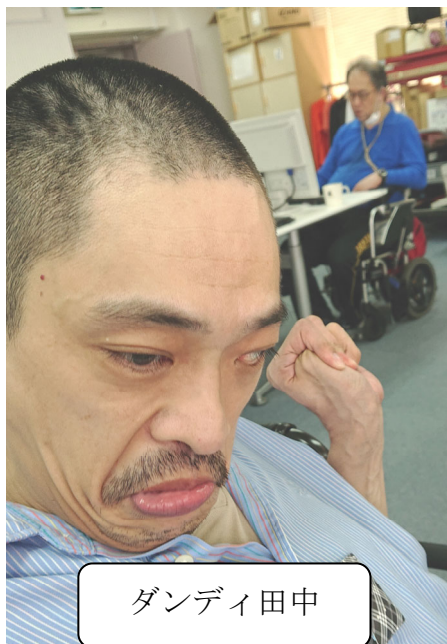
休みの後半はヘルパーさんと散歩した。薬局へ行った。缶コーヒーがあった。でも、かわなかった。買えばよかった。

メンバー 柳川敬事。



僕のステイホーム

僕は約二ヶ月家で過ごしていました。朝は、8時30分ごろに起床し、10時ごろにテレビでワイドショー・情報番組を見ながら、母が作ってくれたご飯を食べて、午後1時ごろラジオ（ニッポン放送やNHK）を聞いて、午後4時ごろ『相棒』の再放送や通販番組などを見て、お風呂に入り午後6時ごろ家族でお酒を飲みながら夕食。午後7時ごろから僕の部屋にてフリータイムとして、テレビやパソコンで動画を見て1日過ごしています。早く銀座のブランド店に行きたいなあ～



ダンディ田中

メンバー 田中 聡

メンバーのつぶやき

「小野塚がPCR検査受けたらしいよ？」

5月23日、微熱が出て風の子通所を拒否された。しばらく家で安静にしていたが、数日経っても微熱傾向はいっこうにおさまらない。せきやくしゃみ、のどの痛みや鼻水、だるさといった風邪の症状は全くなく、食欲も普通にあり、嗅覚異常などもちろんない。微熱だけがただただ続くのだ。このままでは埒があかないと27日、芝診療所へ向かった。すると「今はそういった症状は受け付けられませんので保健所に行ってください」と門前払いを食らった。仕方がないので保健所に電話をすると「そういった場合はまずかかりつけ医に相談してみてください」とたらい回しにされた。やるせなくかかりつけに電話をすると「話を聞く限りではコロナではなさそうだし自宅療養で様子を見るしかなさそうですね」と言われ、どこにも辿り着けずにデッドエンドにぶち当たってしまった（精神的に疲弊しきって心がやさぐれていたので表現が荒々しくなっている部分があります。ご了承下さい）。

このままではどうすることもできないままだと所長に泣きつくと、看護師の沼口さんが保健所と交渉してPCR検査を手配してくれた（沼口さん本当にありがとうございます！ ついでに岡本君もありがとうございます）。場所は東京大学医科学研究所付属病院。白金台駅近くにある病院だ。6月3日午前10時の予約に間に合うように、父とタクシーで病院に向かった。

そこは、病院というよりは大学のような感じの建物だった。古い趣のある建物が緊張感を和らげてくれた。中央玄関は階段しかないので、迂回して東側玄関から入る。東側の建物は研究所のようだった。いくつもの研究室を素通りしながらひとつの研究室に入る。そこには2畳ぶんくらいのスペースがビニールシートで仕切られた空間があり、僕と父はそこに入るように促された。数分後に白衣姿の男性がやってきて、軽い問診をしながら防護服を装着し始めた。テレビで観ていたそのままの防護服を直に見ることで、自分がものすごく大変な事態になっているのかもしれないと改めて思った。問診で得たデータをパソコンに打ち込みながら防護服を着終えた彼がビニールシートの中に入ってくる。バイタルチェックをしながら彼は言う「体調は特には悪くはないんですね？」「はい」「じゃあたぶん大丈夫ですよ」そ



PCR検査（イメージ）

のフランクな口調に安心感を感じながら、鼻の奥に細長い物をつっこまれた。

「検査結果が出るのは午後5時頃です」研究室を出て病院の入り口まで見送ってもらいながら東京大学医科学研究所付属病院を出る。「たぶん大丈夫ですよ」の一言を信じながら家へと帰る。昼前には部屋に着いたのだが、そこから5時までただひたすらに待つというのは結構長かった。昼はコロナばかりの情報番組だらけでうんざりするのでテレビはつけずにいる。父と不毛な話をしたり、でもそれも長続きはせず、眠くもないのに昼寝をしてみたりと無為に時間を費やしていく。ようやく5時になり、病院から電話が来る「検査結果はマイナス（陰性）でした」。

とりあえず新型コロナウイルスには感染していなかったという事実が確定した。所長に報告し、予定通り6月6日から風の子会に復帰することができた。こんなふうに体調を崩したけれど病院にも保健所にも行けず、PCR検査を受けることもできず（幸いにも僕は受けることができたけれど）悶々としている人は世の中にたくさんいるだろう。検査前夜は不安感に駆られてよく寝付けなかった。こんな思いを二度としないためにも、3密を避け、ソーシャルディスタンスを意識し、衛生意識を高くもって日常を過ごしていかなければならないと固く心に誓った。

そして、一日も早い完全なる終息を、心から願った。

メンバー小野塚 航

鉄道模型

メンバー矢島邦章

私は鉄道模型が趣味で集めています。主に「Nゲージ（※1）」を専門にやっています。京浜急行がたくさんあります。約108両もっています。JR線の車両は200両あって、全部売ってしまいました。別に東京メトロの車両がたくさんあります。東京メトロの車両は180両あります。小学生の時はOゲージ（※2）という鉄道模型をやっていて、中学生の時はHOゲージ（※3）にはまりました。



野田さん（右）と鉄道の本を読んでいる矢島さん（左）

（※1）Nゲージ・・・鉄道の縮尺が1/150の鉄道模型。

（※2）Oゲージ・・・鉄道の縮尺が1/45で主にブリキ製の鉄道模型。

（※3）HOゲージ・・・鉄道の縮尺が1/80の鉄道模型。

メンバーのつぶやき

横溝正史 最高！！

入院中やること
がないのでテレビ
（BS）と本ばかり
読んでいました。本
は新刊が手に入ら
ないので自宅にあ
った散々読み尽く
した物です。その中
で圧倒的に面白か
ったのは、横溝正史
著「悪魔の手毬唄」でした。ミス
テリーに詳しい人からすれば、“そ
んなカビのはえたような”とか、あるいは犯人もトリックも分ってしまった本のどこが面白いのかと思うかもしれません。

そんなことはないのです。僕自身すでに3回読んでいます。ストーリーも犯人もトリックも分かっていますが、それでも読み出すと面白さに圧倒され物語の世界に引きずり込まれてしまいます。物語の随所に伏線やミス



内職作業中の小熊さん

リードの箇所が丁寧に書かれています。何より当時（昭和30年の岡山）の田舎の閉塞感、旧家の確執、それを背景にした独特のオドロオドロしい世界が醸し出されています。それゆえに犯人の動機やトリックに多少不自然があっても気にならないのです。やっぱり日本ミステリー（探偵小説）史上最高傑作だと思います。

メンバー 小熊健



バリアフリー よもやま話

第95回 「チャレンジ」

風の子会ボランティア・運営委員 岡本 明

「全盲の人は、飛行機のパイロットにはなれない」と聞くと、誰でも「まあ、それは仕方ない」と思うでしょう。では、「片方の目が見えない場合は？」「眼鏡をかけている場合は？」。「たぶんそれもダメ」という人は多いと思いますが、日本では「単眼はダメ、眼鏡はOK」です。眼鏡は2001年に規制緩和され、OKになりました。ところが、アメリカでは、さすがに全盲はダメでも



一眼が見えればパイロットになれるのです。そして日本人でただ一人、これに挑戦して見事に合格した方がおられます。

北海道出身の前田伸二さんは子どものころから飛行機にあこがれ、高校、大学も航空工学を専門に学んできました。ところが、大学生のとき交通事故で右目の視力を失ってしまいました。夢は砕かれ、絶望に打ちひしがれていた前田さん

でしたが、アメリカでは目が不自由でもパイロットになれるということを知り2002年に渡米して、パイロットとしての訓練を受けるなど努力を続けました。そして3年後について隻眼のパイロットになったのです。現在、アメリカの航空機メーカーに勤務しながら飛行教官もし、また非営利団体エアロ・ジパング・プロジェクトの代表を務め、講演活動などでも活躍しておられます。

ところで、アメリカでは操縦免許を持つ教官が同乗していれば、誰でも飛行機操縦が楽しめるということです。日本ではちょっと考えられないですね。ハワイのワシン・エア社では軽飛行機の操縦体験を旅行者向けに実施しています。毎日新聞記者の全盲の岩下恭士さんは、そのプログラムに参加しました。4人乗り軽飛行機の機長席に座り、副機長席にいる教官から「スロットルいっぱい押し込んで」、「そのまま60ノットを維持」、「右にダイヤモンドヘッドが見えてきました」などの指示や下界の説明を受けながら、90分の飛行で最高時速110ノット、最高高度2000フィートを体験することができたそうです。岩下さんは「車は危ないけど、空の上はぶつかる物が何もないからかえって安全で、バリアフリーだよ」と笑っています。

さらに岩下さん、「実は車の運転もしたことがあるんだ」と言うのです。クラブツーリズムという旅行会社が、栃木県のサーキットで「視覚障害者 夢の自動車運転体験ツアー」を開いているそうです。岩下さんは、隣に座ったインストラクターからハンドルの回し角度やアクセル、ブレーキのタイミングを伝えてもらって、無事運転できたと自慢していました。

当然だめだろうなどと考えずに、何にでもチャレンジするというのは素晴らしいですね。

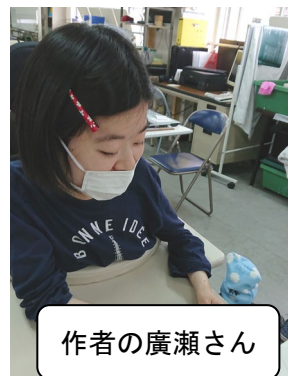


祝！！和音&こども“ど真ん中”プロジェクト賞受賞

廣瀬依生さんが、ゆめびっく2020宇宙桜グランプリに絵を応募し、見事、「和音&こども“ど真ん中”プロジェクト賞」を受賞しました！

廣瀬さんのメッセージ：宇宙の上は、流れ星や、桜が咲いている。そこにいるのは、私と、うさぎ。私は、釣りをしている所。

うさぎは、流れ星を道具で取る所。大変だったことは、桜の花びらがた書くのが大変でした。見てほしいところは、全て力いっぱい書いたところです！今の気持ち、嬉しいです、書いてよかったですと喜びました。



作者の廣瀬さん

タイトル：宇宙上で桜が咲いている



ひとりぼっちの障害者をなくそう！⑧



なつかしのアルバム



今年は歌と踊りの集いも中止のようです。以前は何度も何度も練習を重ねて素晴らしい舞台を作り上げたものでした（写真は2005年のうたおどりです）。

担当・メンバー 小野塚



～ 運営委員会より ～

運営委員会とは、会長に選任された運営委員で構成され、会の運営に関することを話し合っ
て決める機関です。運営委員にはメンバーも職員もボランティアも含まれていて、月
に1度集まって様々なことを話し合っています。

2020年6月の運営委員会内容

・ 移転問題報告

→立ち退きと移転先についての報告と対応策が提案された。

・ 総会進捗状況

→総会の必要要件を確認し、要件を満たしていることを確認した。

・ コロナ対応と経過

→自粛中のメンバーの様子について、報告があった。また、通所
条件として、熱が下がった日から2週間経過したら通所可能と
取り決めた。

・ 常勤男子職員募集状況

→応募者から実習辞退と連絡を受けた。

・ 防災備蓄品の状況

→衛生用品（マスク、アルコール、アルコールジェル）の1ヶ月
の使用量が報告された。

・ その他

→夏休みの日程を決めた。8月13日（木）～17日（月）まで
夏休みとした。

これらについて話し合いました。

文責 運営委員・小野塚



職員の秋葉博さんが、風の子会を7月15日で退職することになりました。今までありがとうございました！

以下は秋葉さんからのお別れのあいさつです。

今回転職を果たしたら、今後皆様と会うことはなくなると思います。未経験の業界とあって色々と忙しくなると思うので……。

しかし縁というのは不思議なもので、例えになるか分からないのですが私自身本当は都会が大嫌いで、ずっと山形に居座るつもりでした。

それがちょっとしたことがきっかけで、上京することになり多くの人と出会うことなど当時は思っていませんでした。

あの時の“一言が”なければ上京することもなかったですし、皆様と会うこともなかった。山形県山形市小白川町5丁目……どこぞの街かも分からない所の出身の人間と皆様との出会いは不思議な縁によって果たされた……。

それを考えると同じ都内にいるわけなので、きっと多分何処かで……街角、或いは駅のホーム、ただすれ違うだけの再会かもしれませんが、その時に皆から見て「風の子辞めて変わったな（悪い意味で）」やなんかヤバい感じになってると言われないように、自分自身他人に誇れる人間になれるように頑張っていきたいと思います。

秋葉 博



賛助会（寄付）・物品寄付のお礼

賛助会（寄付）ありがとうございます。（6月22日～7月8日）（順不同）

塩崎 良子様 吉田 久代様 相蘇 正義様 竹内 功夫様 湯川 揚子様
仙頭 邦子様 渡辺 三恵子様 西澤 民夫様 中井 英代様 薛 永日様
薛陳 月美様 小野田 和子様 飯尾 裕子様 中田 利夫様 石田 菜帆様
三木 順子様 三木 友直様 波多野 順治様 波多野 栄子様 金子 豊様
越村 紀子様 丸毛 波津様 山崎 真理子様 木戸 大治様 神谷 和子様
北村 悦子様 堀 信子様 柳川 比呂無様 中山 信孝様 市川 美江様
花岡 佑大様 諏訪 敏子様 右田 麿子様 小西 雅子様 諸角 始子様
飯田 キエ子様 田中 マサ子様 小野塚 満郎様 青木 和代様
有限会社 すばる介護センター様
匿名様 11名様

物品寄付ありがとうございます。（5月～7月）（順不同）

山崎 真理子様
三木 順子様
細山 信行様



所長のため息

先月号でも書きましたが、風の子会は、感染予防のために朝を1時間、帰りを1時間と計2時間短縮して活動しています。メンバーから「いつまでこの状態が続くのか？」という意見が出ました。そこでみんなの意見を聞きたく、夕会を行ないました。夕会では通常通りの時間に戻して欲しい、という意見、感染が怖いから短縮の今のままでしばらくは良いのではないか、という意見と両方ありました。みんな自分の意見を言ってくれて、とても有意義に行なわれました。

すぐにはいつも通りの時間に戻すことは難しいかもしれません。しかし、メンバーの意見に耳を傾け、徐々にでも良いので通常の活動が戻ってくればと思います。

暗いニュースが多い中、うれしいニュースを一つ、内職が来ました！マスクと消毒液、ウェットティッシュを箱に入れる内職です。工房の人達はやる気十分、頑張っています！活気が少し戻った気がします。



沢山、出来ました！

先月号で賛助会の募集を行いました、皆様からのたくさんのご寄付ありがとうございます。これまでに集まった賛助会ご寄付は以下の通りです。引き続き募集しています。よろしくお祈りします。

賛助会実績（7月8日現在） 57名 1,684,000円

ひとりぼっちの障害者をなくそう 特定非営利活動法人・風の子会 ~定価40円~

企画編集メンバー

太田 圭子	信高 正義
太田 稔	松本 恵司
小野塚 航	三木 直人
島田 龍司	柳川 敬事
田中 聡	幸 高史
塚田 愛基	和栗頭太郎

編集人：【高浜生活実習所】生活介護、就労継続支援B型
〒108-0022

東京都港区海岸3-3-18 芝浦日新ビル5階

TEL 03(6809)4001

FAX 03(6809)4002

ホームページ：<http://www.kazenokokai.or.jp/>

e-mail：kazenoko@kazenokokai.or.jp

発行人：障害者団体定期刊行物協会

東京都世田谷区砧6-26-21